

「都市高速鉄道なにわ筋線堀江立坑工事」の工事説明会における主な質問と回答

説明会当日およびお問い合わせフォームからいただきました主な質問と回答の要旨についてお知らせします。

NO.	質問事項	回答
事業概要について		
1	なにわ筋線のルートはいつ決定したのか。	2020年に認可を取得し決定しました。
2	工事が完了して電車が走るのはいつになるのか。	なにわ筋線の開業は2031年春を予定しています。
道路規制、仮設歩道の計画・安全対策について		
3	仮設歩道の東西の出入口について、街灯を付けたりするのは理解するが、防犯上の観点からガードマンを配置することを検討していないのか。	仮設歩道では街灯を設置するとともに、曲がり角の部分には透明なクリアパネルや車両進入防止のためのポールコーンを設置するなどの対策を実施します。歩道幅4mを確保し、直線であるため見通しについても現時点では問題ないと考えています。街灯の照度もしっかり確保いたします。使用開始後の状況を確認し、必要により、ガードマンの配置を検討していきます。使用開始後、防犯上の不具合がありましたら、ご意見いただければと考えています。
4	仮設歩道や通行止めで袋小路になる場所で、喫煙をする方が溜まることがあるのではないのか。	仮設歩道付近については照度確保と注意喚起看板の設置、袋小路になる場所については注意喚起看板の設置を考えています。
5	仮設歩道付近でのクレーン作業時で、仮設歩道は万が一のときに倒れる範囲なのか。クレーンが倒れるリスクへの対応など、安心できる施工計画としてほしい。仮設歩道の計画について、警察とも相談してほしい。	・杭打機などは高さ30mなので、仮設歩道が転倒範囲に入る状況にはなりますが、クレーンや杭打機が倒れないよう、地盤を強固するなど、発注者も安全な施工計画であることを確認していきます。また、日頃から現地を確認し、不具合が発見されれば適切に是正しながら対応していきます。 ・仮設歩道の計画についても西警察署と詳細な内容を詰めながら進めています。完成後も、警察の巡回やアドバイスもいただきながら、コミュニケーションを取っていきたいと思います。
6	なぜ通行止めを実施しないといけないのか。	道路を横断するような形でトンネルを作る必要があり、道路上で大きな機械で杭を打つ、土を掘る、といった一連の作業を実施します。そういった工事場所で歩行者を通すことは非常に危険であるため、通行止めが必要となります。
7	通行止めについて、作業をしていない時間についても歩行者を通すことは出来ないのか。	大きな機械を設置しての大規模な掘削工事であることから、歩行者の安全を確保するため夜間通行止めが必要となります。日中、夜間とも通行止めして作業することで期間が延びないようにします。
8	通行許可証の申請および配布についてはどのような対応となるか。枚数は何枚まで貰えるのか。	複数枚の発行について、差支えありません。必要枚数をお申し出頂ければ、対応します。追加での対応も可能です。
9	工事エリアの西側一方通行の道路について、通行許可証がなくても通行できるのか。	工事ヤード西側の、南行きの一方通行道路については、基本的にどの車両でも通行可能ですので、通行許可証がなくても通行は可能です。
10	今回、工事による交通量について、事前検討は実施しているのか。	警察との協議に際し、交通量調査を実施し、その結果を踏まえ通行止めに対して渋滞が起きないかをシミュレーションのうえ確認しています（北東部ローソン前交差点付近）。工事中の工事車両の渋滞は、実施の中で、施工者のマネジメントの中で対応していきたいと考えています。
工事に伴う騒音、振動等の環境対策		
11	今回の工事で発生する音は今の建物撤去工事以上となるのか。	今回の工事は地上面より地下での解体工事となるので、音が発生しても壁に跳ね返りますので、今の工事よりも音は出ないと考えています。コンクリートを解体する際、高い音が出ないように、極力、重機のアタッチメントに圧砕機を使用して作業を実施することを考えています。
12	工事時間の中で、日中・夜間作業があると記載されているが、深夜・早朝の騒音が発生するのか。	大きな機械や長い材料を運搬する車両は昼間の時間帯は一般道路を走行できないため、夜間や早朝に運搬・現場搬入させていただきます。車両が現場内に入った後はエンジンを切り、騒音防止に努めます。
家屋調査について		
13	調査の範囲外で、工事完了後にもし工事の影響と想定される何らかの変状が発生した場合、申請をすれば事後調査を実施してもらえるのか。	事前調査をしていない場合は変状と工事の因果関係の証明が難しくなります。影響範囲外であっても、関西高速鉄道にご連絡を頂ければ、家屋事前調査の実施について、個別にご相談させていただきます。

NO.	質問事項	回答
今後の堀江地区関連工事		
14	堀江地区において、なにわ筋線事業のために今後、建物を解体する工事があとどれくらいあるのか。	具体的な対象件数を申し上げることはできませんが、堀江地区ではJR堀江シールドの土被りが10数mであり、建物の基礎杭がシールド工事に支障する場合、この事業の中で建物解体工事が必要となります。地権者の方と個別にお話しさせていただき、同意いただけたら、この2年間で建物解体工事を行っていく予定です。
その他		
15	今後、工事に対して意見・要望があった場合は今回の様な会合を開いてもらえるのか。	堀江立坑工事の説明会は今回のみです。ご意見・ご要望については、連絡先に記載していますとおり、事業全体のことは関西高速鉄道、施工のことは大成JVにご連絡を頂きたいと考えています。いただいたご意見については、しっかりとフィードバックしていきたいと考えています。